

## 令和4年度まちづくり未来事業の主な取り組みについて

### 1 門前町歴史まちづくり推進事業（事業 NO.1 継続）10,509 千円

#### 【令和4年度の取組内容】

当初5年間（H29～R3）の計画としていたまちなみ整備事業補助金を、地域の要望を踏まえて3年間延長し、さらに良好な景観の整備促進と魅力発信、協議会が実施する住民意識醸成活動等への支援に取り組む。

- ①（継続）門前町手向地区まちなみ整備事業補助金（補助率 2/3、上限 300 万円） 7 件

※新たに松原町が加わり、手向10集落中9集落を補助対象区域とする。

- ②（継続）門前町歴史まちづくり活動支援補助金（出羽三山魅力発信協議会補助金）

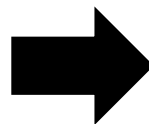
#### 【これまでの実績】

- ① 5年間の修景事業実施により、特に随神門前から桜小路集落にかけてまちなみの連続性や統一感が向上し、成果が目に見える形で現れており、景観に対する住民の関心も高まっている。

H29 年度実績	6 件	10,219 千円	H30 年度実績	7 件	9,427 千円
R 元年度実績	6 件	7,277 千円	R 2 年度実績	6 件	9,359 千円
R 3 年度実績	7 件	11,051 千円			



〔手向鶴沢町〕  
車庫改築事業  
（令和3年度  
補助事業実績）



- ② 「出羽三山魅力発信協議会」への活動支援を平成26年度から継続してきたことで、講演会や賑わいづくり活動等への住民の参加意識が少しずつ向上している。

## 2 手向地区地域通貨導入チャレンジ支援事業（事業 No. 3 新規）300 千円

手向地域では人口減少や少子高齢化の影響で地元商店が衰退傾向にあり、将来増えると予想される高齢者世帯が買い物弱者とならないように、地元の商店の存続を目的とした「地域通貨」の導入を検討している。その仕組みづくりの立上げ及び運営初期にかかる費用等を補助し、地域課題の解決への取組みを支援する。

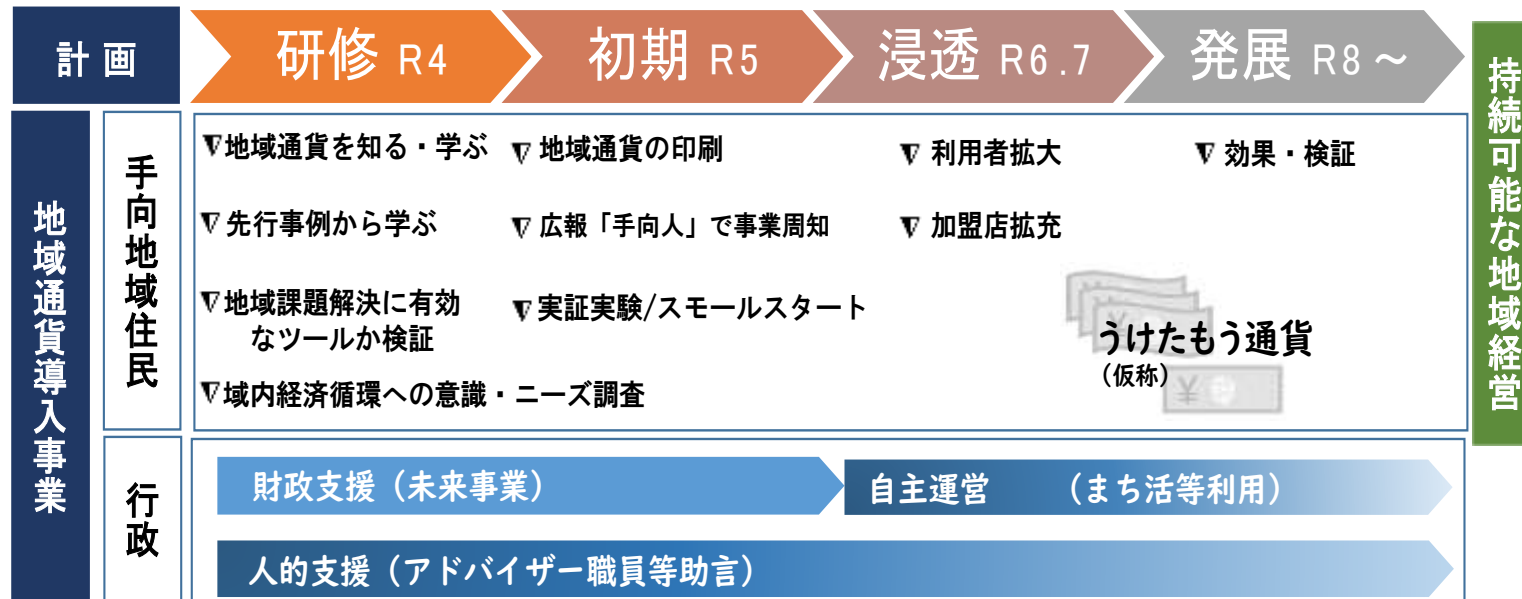
### 【事業期間】

令和4年度・令和5年度（2カ年）

### 【事業内容】

- ・令和4年度 勉強会／指導料（座学）、研修（先行事例現地研修）
- ・令和5年度 相談料、印刷費（地域通貨）

### 【地域通貨導入スケジュール(案)】



### 3 松ヶ岡開墾場周辺環境整備事業（投資事業 継続）（都市計画課予算）102,100 千円

#### 【事業期間】

令和3年度・令和4年度（2カ年）

#### 【事業内容】

- ・令和3年度 用地取得、立木補償、測量設計
- ・令和4年度 本工事  
内訳：①通路整備  
②園内通路（道路改良）  
③多目的広場整備

#### 【令和4年度の事業概要】

- ・通路整備  
歩行者等の安全性や生活道の利便性の向上、施設散策・回遊性向上のための通路整備。
  - ① 通路整備 L=290.0m、W=2.0m（カラー舗装）
  - ② 園内通路 L=63.3m、W=2.0m（コンクリート舗装）
- ※一部未改良となっている車道部の工事  
L=125.5m、W=4.0m（As舗装）
- ・多目的広場整備  
周辺住民が集う現農村公園の一角を、駐車帯を含む多目的広場として整備。
  - ③ 多目的広場整備 全体面積A=964㎡（うち広場=876㎡（インターロッキング）、駐車帯=88㎡）

